

## ネグレクト

2005.12.01

インフルエンザの流行がもうそこまで迫ってきているようです。本州方面ではインフルエンザ発生報告が増えています。函館のこの地はまだインフルエンザは見られませんが、みずぼうそうやおたふく風邪の流行が続いています。何度も書きますが、ワクチンがあつて予防できるものは予防しましょう。それが子どもにとって一番の幸せになります。

先日、七飯町で虐待防止シンポジウムがあつて「子どもがこどもらしく生きるために」と題して、虐待、特にネグレクトに関する講演をしてきました。函館近郊でも、虐待の通告事例が増えています。その中でも最近ではネグレクトといつて「こどもの世話をしていない」ために、身体的にも心理的にも影響がでてしまうというタイプの虐待が増えていて、児童相談所の虐待受理件数のほぼ半数を占めるまでになっています。

身体的な虐待は親側にそれなりの自覚があることもありますが、ネグレクトの場合は親側には自覚がほとんどないため、なかなか介入しづらく、子どもへの影響も長く続くという特徴があります。最近の非行少年の家庭環境の報告などを見ると、その生育過程にネグレクトを強く疑うことが多いといわれています。最近の読売新聞に「子どもを非行化させるコツ」というのが載っていました。

1. 幼い時から冷たく放りっぱなしにしろ
2. 欲しいと言ったら何でもすぐ買い与えよ
3. 間違いや失敗は理由を問わずしかり飛ばせ
4. どこで何をして遊ぼうが気に留めるな
5. よその子や兄弟と比較して、おまえはバカだ、だれだれを見習え、を連発しろ
6. 忙しいのに食卓のだんらんなど無駄だ
7. 善い事や努力をしても決してほめるな
8. 子どもの前では決して夫婦間の意見を一致させるな
9. お金こそ人生のすべてと身をもって教える
10. 子どもの前で常に法律、警察、学校、役所の悪口を言い、社会の決まりや公共機関への敵意を植えつける

子どもはかけがえのない国の宝です。どうか楽しい子ども時代を送れるようすべての人が見守ってください。